

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書

2023年 4月 18日

都道府県知事 殿

病院名 社会福祉法人^{恩賜}済生会今治病院
開設者 社会福祉法人^{恩賜}済生会支部愛媛県済生会
支部長 岡田 武志

医師法第16条の2第1項に規定する臨床研修に関する省令（平成14年厚生労働省令第158号）第12条に基づき、年次報告書を提出いたします。
また、併せて、同省令第9条に基づき、1. 研修プログラムの変更、2. 研修プログラムの新設を届け出ます。

（研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけてください。）

①. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院 （報告又は届出を行う臨床研修病院の型の番号に○をつけてください。）

- ・項目番号1から27までについては、年次報告において記入してください。
- ・研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号28から38までについても記入してください。

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書ー 1 ー

病院施設番号： 030976

臨床研修病院の名称： 済生会今治病院

記入日：西暦 2023年 4月 18日

病院施設番号 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に番号を取得している臨床研修病院については 病院施設番号を記入してください。	030976	臨床研修病院群の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 既に臨床研修病院群番号を有している臨床 研修病院群については、番号も記入し てください。	名称 済生会今治病院 番号 0309766
作成責任者の氏名及び連絡先 <small>(基幹型、協力型記入)</small> 本報告書の問合せに対して回答できる作成 責任者について記入してください。	フリガナ ヒノ 氏名(姓) 日野	シゲ (名) 志惟那	役職 臨床研修センター・主事 (内線 3080) (直通電話 (0898) 47 — 2500) e-mail : resident@imabari.saiseikai.or.jp (携帯電話のメールアドレスは不可とします。)
1. 病院の名称 <small>(基幹型、協力型記入)</small>	フリガナ シカイクシホウジン オンザイダン サイケイマハリビョウイン 社会福祉法人 ^{恩賜} 済生会今治病院 _{財団}		
2. 病院の所在地及び二次医 療圏の名称 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 799-1592 (愛媛 都・道・府・県) 今治市喜田村7丁目1番6号 電話 : (0898) 47 — 2500 FAX : (0898) 48 — 5096 二次医療圏 の名称 : 今治		
3. 病院の開設者の氏名(法 人の名称) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ シカイクシホウジン オンザイダン サイケイツブエヒケンサイカイ 社会福祉法人 ^{恩賜} 済生会支部愛媛県済生会 _{財団}		
4. 病院の開設者の住所(法 人の主たる事務所の所在 地) <small>(基幹型・協力型記入)</small>	〒 791-8026 (愛媛 都・道・府・県) 松山市山西町9971 電話 : (089) 952 — 0332 FAX : (089) 952 — 0352		
5. 病院の管理者の氏名 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	フリガナ マツノ 姓 松野	ツヨシ 名 剛	
6. 研修管理委員会の構成員の氏名 及び開催回数 <small>(基幹型記入)</small>	* 別紙1に記入 研修管理委員会の全ての構成員(協力型臨床研修病院及び臨床研修協力施設に所属する者を含む。)について記入してください。		
7. 病院群の構成等 <small>(基幹型記入)</small>	* 別表に記入 病院群を構成する全ての臨床研修病院、臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について記入してください。		
8. 病院のホームページアドレス <small>(基幹型・協力型記入)</small>	http://www.imabari.saiseikai.or.jp/		

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 2 －

病院施設番号： 030976

臨床研修病院の名称： 済生会今治病院

	※	
9. 医師（研修医を含む。）の員数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		常勤：57名、非常勤（常勤換算）：5.31名 計（常勤換算）：62.31名、医療法による医師の標準員数：27.86名 <small>* 基幹型臨床研修病院は、当該病院が管理している研修医の氏名等について様式3に記入</small>
10. 救急医療の提供の実績 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	救急病院認定の告示	告示年月日：西暦 2020 年 2 月 1 日、告示番号：第 2811 号
	医療計画上の位置付け	1. 初期救急医療機関 (2) 第二次救急医療機関 3. 第三次救急医療機関
	救急専用診療（処置）室の有無	(1) 有 (28.300) m ² 0. 無
	救急医療の実績	前年度の件数： 6,514 件（うち診療時間外： 4,338 件） 1日平均件数： 17.8 件（うち診療時間外： 11.9 件） 救急車取扱件数： 1,458 件（うち診療時間外： 601 件）
	診療時間外の勤務体制	医師： 2名、看護師及び准看護師： 2名
	指導を行う者の氏名等	* 別紙4に記入
	救急医療を提供している診療科	内科系 (1) 有 0. 無) 外科系 (1) 有 0. 無) 小児科 (1. 有 0. 無) その他 ()
11. 医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 191 床、2. 精神： _____ 床、3. 感染症： _____ 床 4. 結核： _____ 床、5. 療養： _____ 床
12. 診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		* 別紙2に記入 <small>年次報告の場合には、患者数は報告年度のの前年度分、研修医の数は報告年度のの前年度分の実績と当年度分の想定を記入。研修プログラム変更・新設の届出の場合には、患者数は届出年度のの前年度分、研修医の数は届出年度の次年度分及び次々年度分の想定を記入。</small>
13. 病床の種別ごとの平均在院日数（小数第二位四捨五入） <small>（基幹型・協力型記入）</small>		1. 一般： 16.1 日、2. 精神： _____ 日、3. 感染症： _____ 日 4. 結核： _____ 日、5. 療養： _____ 日
14. 前年度の分娩件数 <small>（基幹型・協力型記入）</small>		正常分娩件数： 0 件、異常分娩件数： 0 件
15. 臨床病理検討会（CPC）の実施状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	開催回数	前年度実績： 1 回、今年度見込： 3 回 ※報告・届出病院の主催の下に開催した回数を記入
	指導を行う病理医の氏名等	* 別紙4に記入
	剖検数	前年度実績： 1 件、今年度見込： 3 件
	剖検を行う場所	当該医療機関の剖検室 (1) 有 0. 無 (_____) 大学、(_____) 病院 <small>無を選択した場合には、剖検を実施している大学又は病院を記入してください。</small>
16. 研修医のための宿舎及び研修医室の有無 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	研修医の宿舎	(1) 有（単身用： 5 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） <small>有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。</small>
	研修医室	(1) 有 (1 室) 0. 無 <small>有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。</small>
17. 図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	図書室の広さ	(80) m ²
	医学図書数	国内図書： 2765 冊、国外図書： 48 冊
	医学雑誌数	国内雑誌： 148 種類、国外雑誌： 27 種類
	図書室の利用可能時間	00：00 ～ 24：00 24時間表記
	文献データベース等の利用環境	Medline等の文献データベース (1) 有 0. 無)、教育用コンテンツ (1) 有 0. 無)、その他 () 利用可能時間 (00：00 ～ 24：00) 24時間表記
	医学教育用機材の整備状況	医学教育用シミュレーター ((1) 有 0. 無)、その他 ()

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 3 －

病院施設番号： 030976

臨床研修病院の名称： 済生会今治病院

18. 病歴管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	病歴管理の責任者の氏名及び役職	フリガナ ヤノ 氏名(姓) 矢野	フリガナ キビサ 氏名(姓) 清久		
		役職 課長			
	診療に関する諸記録の管理方法	①. 中央管理 2. 各科管理 その他(具体的に:)			
	診療録の保存期間	(10) 年間保存			
	診療録の保存方法	1. 文書 ②. 電子媒体 その他(具体的に: 平成25年10月より電子カルテを導入。以前のかカルテは紙媒体で保管している。)			
19. 医療安全管理体制 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	安全管理者の配置状況	①. 有 (1 名) 0. 無 <small>有を選択した場合には、安全管理者の人数を記入してください。</small>			
	安全管理部門の設置状況	職員: 専任 (1) 名、兼任 (5) 名 主な活動内容: 例)「院内において発生した医療事故又は発生する危険があった医療事故についての情報の収集」「医療事故の防止のための研修及び教育」等 医療事故の原因及び防止方法、並びに医療体制の改善方法についての検討・提言、インシデントレポートの内容分析及び必要事項の記入、事故防止及び安全対策に関する周知徹底と連絡調整、インシデントレポートの積極的な提出の励行			
	患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況	患者相談窓口の責任者の氏名等:	フリガナ モリシゲ		フリガナ アケミ
			氏名(姓) 盛重	氏名(姓) 明美	
		役職	看護師長・専従リスクマネージャー		
		対応時間 (8 : 30 ~ 17 : 00) 24時間表記	患者相談窓口に係る規約の有無: ①. 有 0. 無		
	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	①. 有 0. 無 指針の主な内容: 事故防止活動等を通して組織の損失を最小に抑え、医療の質を確保する、関連部門と連携しながらリスクマネジメントの手法を用いて患者・家族の安全と安楽を確保する。			
医療に係る安全管理委員会の開催状況	年 (12) 回 活動の主な内容: 各部署から提出されたインシデント・アクシデントレポートの分析、医療事故防止マニュアルの見直し・変更、職員研修会の企画、院外研修会の報告、安全管理のための医療機器管理について				
医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 (16) 回 研修の主な内容: 採用時研修(医療事故におけるリスクマネジメントとその必要性)、年間研修(医療事故防止への取り組み、医療をめぐる最近の話題)				
医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策	医療機関内における事故報告等の整備: ①. 有 0. 無 その他の改善のための方策の主な内容: リスクマネジメントにおける院内ラウンド、委員会からの院内広報誌の発行、患者・職員の医療安全に対する意識調査				
20. 前年度に臨床研修を修了又は中断した研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	修了: 3 名 中断: 1 名				
21. 現に受け入れている研修医の数 <small>(基幹型・協力型記入)</small>		前々年度	前年度	当該年度	
	1 年	5	4	5	
	2 年	4	4	4	
22. 受入可能定員 <small>(基幹型・協力型記入)</small>	許可病床数(歯科の病床数を除く。)から算出	許可病床数 (191) 床 ÷ 10 = (19.1) 名			
	患者数から算出	年間入院患者数 (3,795) 人 ÷ 100 = (37) 名			
23. 精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況 <small>(基幹型・協力型記入)</small> 精神科の研修を行う臨床研修病院については記入してください。	1. 精神保健福祉士: 0 名 (常勤: 0 名、非常勤: 0 名)				
	2. 作業療法士: 6 名 (常勤: 6 名、非常勤: 0 名)				
	3. 臨床心理技術者: 1 名 (常勤: 1 名、非常勤: 0 名)				

	9. その他の精神科技術職員： _____ 0 名（常勤： 0 名、非常勤： 0 名）
24. 臨床研修に関する第三者評価の受審状況 (基幹型記入)	① 有 （評価実施機関名：卒後臨床研修評価機構(令和2年9月16日)） 0. 無 有を選択した場合には、評価実施機関名及び直近の受審日を記入してください。 受審状況有りの場合、結果の公表 ①. 有 0. 無

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－４－

病院施設番号：030976 臨床研修病院の名称：済生会今治病院

項目 27 までについては、報告時に必ず記入してください。		※	
25. 時間外・休日労働の実績及び最大想定時間数 (基幹型記入)			* 別紙5に記入 年次報告の場合は、報告年度の前年度の実績及び報告年度の想定を記入。 研修プログラム変更・新設の届出の場合は、届出年度の前年度の実績及び次年度の想定を記入。
26. 前年度に育児休業を取得した研修医の数 (基幹型・協力型記入)			女性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (1) 名 男性 1年次研修医 (0) 名 2年次研修医 (0) 名
27. 研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項 (基幹型・協力型記入)	院内保育所		院内保育所の有無 (1) 有 0. 無) 有を選択した場合、開所時間を記入してください (7時30分 ~ 19時30分) 病児保育 (1. 有 (0) 無) 夜間保育 (1. 有 (0) 無) 上記保育所は研修医の子どもに使用可能か (1) 可 0. 不可)
	保育補助		ベビーシッター・一時保育等利用時の補助 (1. 有 (0) 無) その他の補助 (具体的に :)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所		休憩場所 (1. 有 (0) 無) 授乳スペース (1. 有 (0) 無)
	その他育児関連施設・取組があれば記入 (院外との連携した取組もあれば記入)		()
	研修医のライフイベントの相談窓口		(1) 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入 (臨床研修センター) 窓口の専任担当 (1) 有 (2 名) 0. 無
	各種ハラスメントの相談窓口		窓口の名称を記入 (ハラスメント相談窓口) 窓口の専任担当 (1) 有 (2 名) 0. 無
※ここからは研修プログラムごとに記入してください。研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。			
28. 研修プログラムの名称 (基幹型・協力型記入) プログラム番号は、既にプログラム番号を取得されている場合に記入してください。			研修プログラムの名称 : プログラム番号 : _____
29. 研修医の募集定員 (基幹型記入)			1年次 : _____ 名、2年次 : _____ 名
30. 研修医の募集及び採用の方法 (基幹型記入)	研修プログラムに関する問い合わせ先		フリガナ 氏名 (姓) _____ (名) 所属 _____ 役職 _____ 電話 : () _____ FAX : () _____ e-mail : _____ URL : http:// _____
	資料請求先		住所 〒 □□□□ — □□□□ (_____ 都・道・府・県) 担当部門 _____ 担当者氏名 フリガナ _____ 姓 _____ 名 _____ 電話 : () _____ FAX : () _____ e-mail : _____ URL : http:// _____

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－５－

病院施設番号：030976

臨床研修病院の名称：済生会今治病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

30. 研修医の募集及び採用の方法（続き） <small>（基幹型記入）</small>	募集方法	1. 公募 2. その他（具体的に： _____）
	応募必要書類 <small>（複数選択可）</small>	1. 履歴書、2. 卒業（見込み）証明書、3. 成績証明書、 4. 健康診断書、5. その他（具体的に： _____）
	選考方法 <small>（複数選択可）</small>	1. 面接 2. 筆記試験 その他（具体的に： _____）
	募集及び選考の時期	募集時期： 月 日頃から 選考時期： 月 日頃から
	マッチング利用の有無	1. 有 0. 無
31. 研修プログラムの名称及び概要 <small>（基幹型記入）</small>		概要：* 別紙3に記入 （作成年月日：西暦 年 月 日）
32. プログラム責任者の氏名等（副プログラム責任者が配置されている場合には、その氏名等） <small>（基幹型記入）</small> * プログラム責任者の履歴を様式2に記入 * 副プログラム責任者が配置されている場合にあつては、副プログラム責任者の履歴を様式2に記入		（プログラム責任者） フリガナ 氏名（姓） _____ 氏名（名） _____ 所属 _____ 役職 _____ （副プログラム責任者） 1. 有（ _____ 名） 0. 無
33. 臨床研修指導医（指導医）等の氏名等 <small>（基幹型記入）</small> 全ての臨床研修指導医等（協力型臨床研修病院に所属する臨床研修指導医及び臨床研修協力施設に所属する臨床研修の指導を行う者を含む。）について氏名等を記入してください。		* 別紙4に記入
34. インターネットを用いた評価システム		1. 有（ _____ ・EPOC _____ ・その他（ _____ ）） 0. 無
35. 研修開始時期 <small>（基幹型、地域密着型記入）</small>		西暦 年 月 日
36. 研修医の処遇 <small>（基幹型・協力型記入）</small>	処遇の適用 <small>（基幹型臨床研修病院は、2に○をつけて、以下の各項目について記入してください。）</small>	1. 基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする。 1を選択した場合には、以下の研修医の処遇の項目については、記入不要です。 2. 病院独自の処遇とする。
	常勤・非常勤の別	1. 常勤 2. 非常勤
	研修手当	一年次の支給額（税込み） _____ 円 基本手当／月（ _____ 円） 賞与／年（ _____ 円） 二年次の支給額（税込み） _____ 円 基本手当／月（ _____ 円） 賞与／年（ _____ 円）
	勤務時間	時間外手当： 1. 有 0. 無 休日手当： 1. 有 0. 無 基本的な勤務時間（ _____ : _____ ~ _____ : _____ ）24時間表記 休憩時間（ _____ ） 時間外勤務の有無： 1. 有 0. 無
	休暇	有給休暇（1年次： _____ 日、2年次： _____ 日） 夏季休暇（1. 有 0. 無） 年末年始（1. 有 0. 無） その他休暇（具体的に： _____）
	当直	回数（約 _____ 回／月）
	研修医の宿舎（再掲）	1. 有（単身用： _____ 戸、世帯用： _____ 戸） 0. 無（住宅手当： _____ 円） 有を選択した場合には、単身用・世帯用に分けて宿舎の戸数を記入してください。 無を選択した場合には、住宅手当の金額を記入してください。住宅手当の支給が無い場合は、「0」と記入してください。
	研修医室（再掲）	1. 有（ _____ 室） 0. 無 有を選択した場合には、研修医室の室数を記入してください。
	社会保険・労働保険	公的医療保険（ _____ ） 公的年金保険（ _____ ） 労働者災害補償保険法の適用（1. 有 0. 無）、 国家・地方公務員災害補償法の適用（1. 有 0. 無） 雇用保険（1. 有 0. 無）

年次報告書、研修プログラム変更・新設届出書－ 6 －

病院施設番号：030976 臨床研修病院の名称：済生会今治病院

※研修プログラムの変更又は新設の場合は、上記内容と併せて以下の内容についても記入してください。

36. 研修医の処遇（続き） （基幹型・協力型記入）	健康管理	健康診断（年 回） その他（具体的に)
	医師賠償責任保険の扱い	病院において加入（1. する 0. しない） 個人加入（1. 強制 0. 任意）
	外部の研修活動	学会、研究会等への参加：1. 可 0. 否
		学会、研究会等への参加費用支給の有無：1. 有 0. 無
	院内保育所（再掲）	院内保育所の有無（1. 有 0. 無） 有を選択した場合、開所時間を記入してください（ 時 分 ～ 時 分）
		病児保育（1. 有 0. 無） 夜間保育（1. 有 0. 無）
		上記保育所は研修医の子どもに使用可能か（1. 可 0. 不可）
	保育補助（再掲）	ベビーシッター・一時保育等利用時の補助（1. 有 0. 無）
		その他の補助（具体的に：)
	体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所（再掲）	休憩場所（1. 有 0. 無） 授乳スペース（1. 有 0. 無）
（)		
その他育児関連施設・取組があれば記入（院外との連携した取組もあれば記入）（再掲）	（)	
研修医のライフイベントの相談窓口（再掲）	1. 有 0. 無 窓口の名称がある場合記入（) 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
各種ハラスメントの相談窓口（再掲）	窓口の名称を記入（) 窓口の専任担当 1. 有（ 名） 0. 無	
37. 研修医手帳（基幹型記入）	1. 有 0. 無	
38. 連携状況（基幹型記入）	* 様式6に記入	

※欄は、記入しないこと。

(記入要領)

- 1 研修プログラムを変更する場合には「1. 研修プログラム変更」に、研修プログラムを新設する場合には「2. 研修プログラムの新設」に○をつけること。
- 2 報告又は届出を行う臨床研修病院の型に応じて、「1. 基幹型臨床研修病院 2. 協力型臨床研修病院」の番号に○をつけること。
- 3 特に定めのあるもののほか、原則として、報告・届出日の属する年度（以下「報告・届出年度」という。）の4月1日現在で作成すること。
- 4 既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入し、前回提出した報告書の内容と異なる項目について記入すること。
- 5 各項目に、記入が必要な臨床研修病院の型を記載しているため、臨床研修病院の型に合わせて、記入が必要な項目について記入すること。
- 6 (基幹型・協力型記入)と記載されている項目は、基幹型臨床研修病院・協力型臨床研修病院の全ての臨床研修病院が記入対象となること。
- 7 (1. 有 0. 無)のように選択形式の項目は、いずれかに○をつけること。
- 8 項目番号1から26までについては、年次報告において記入すること。
- 9 研修プログラムの変更・新設の届出の場合は、項目番号27から37までについても記入すること。
- 10 ※欄は、記入しないこと。
- 11 「作成責任者の氏名及び連絡先」欄の作成責任者は、記載内容について十分回答できる者とする。
- 12 「病院群の構成等」欄は、病院群を構成する全ての臨床研修病院及び臨床研修協力施設の名称、新規指定の有無、病院群の構成の変更等について別表に記入すること。
- 13 「病院のホームページアドレス」欄は、当該病院がホームページを有する場合にのみ記入することで差し支えないこと。
- 14 「医師(研修医を含む。)の員数」欄について

- (1)「医療法第21条の規定に基づく人員の算定に当たっての取扱い等について」(平成10年6月26日付け健政発第777号・医薬発第574号)に基づき、当該病院に勤務する医師(研修医を含む。)について記入すること。なお、歯科医師は算定しないこと。
- (2)「常勤」とは、原則として当該病院で定めた医師の勤務時間の全てを勤務する者をいうものであること。
- (3)「非常勤」については、常勤以外の医師について、次に掲げる換算式により常勤換算をした数を記入すること。

※ 換算式

$$\frac{\text{非常勤医師の1週間の勤務時間数}}{\text{常勤医師の1週間の勤務時間数}} = \text{常勤換算をした数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- (4)「計(常勤換算)」については、常勤医師数と非常勤医師を常勤換算した数の合計を記入すること。
- (5)「医療法による医師の標準員数」は、医療法施行規則第19条第1項第1号の規定に従い、次に掲げる算出式により算出すること(患者数は、入院及び外来とも報告・届出年度の前年度の1日平均とすること。)

※ 算出式

$$\left[\frac{\text{精神病床及び療養病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)} + \text{精神病床及び療養病床以外の病床に係る入院患者数(歯科の入院患者数を除く。)}}{3} + \frac{\text{外来患者数(精神科、耳鼻咽喉科、眼科及び歯科の外来患者数を除く。)}}{2.5} + \frac{\text{精神科、耳鼻咽喉科及び眼科の外来患者数} - 52}{5} \right] \times \frac{1}{16} + 3 = \text{医師の標準員数}$$

ただし、医療法施行規則第43条の2に該当する病院については、上記算出式によらないものとする。

- (6) 当該病院の研修プログラムで研修を行っている全ての研修医の氏名等について、様式3に記入すること(歯科医師は記入しない。)
- 15 「救急医療の提供の実績」欄について
- (1)「救急病院認定の告示」欄は、「救急病院等を定める省令」(昭和39年厚生省令第186号)に基づき都道府県知事の救急病院の認定を受けている病院である場合に、告示年月日(西暦)及び告示番号を記入するものであること。
- (2)「医療計画上の位置付け」欄は、医療計画上、初期救急医療機関、第二次救急医療機関又は第三次救急医療機関として位置付けられている場合に、該当する番号に○をつけるものであること。
- (3)「救急専用診療(処置)室の有無」欄は、救急専用診療(処置)室を有する場合には、「1. 有」に○をつけるとともに、その面積を記入し、有しない場合には、「0. 無」に○をつけること。
- (4)「救急医療の実績」欄については、「前年度の件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数(来院方法を問わず、全ての件数)、「1日平均件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数を年間総日数(365又は366)で除した数、また、「救急車取扱件数」は報告・届出年度の前年度の救急取扱件数のうちで来院方法が救急車によるものの数をそれぞれ記入すること。さらに、これらの件数のうち診療時間外に受け付けた件数について、それぞれの「うち診療時間外」欄に記入すること。
- (5)「診療時間外の勤務体制」については、「医師」数は、「救急医療を提供している診療科」の診療時間外の勤務体制における医師数を記入すること。また、「看護師及び准看護師」数は、専ら救急医療を提供するための病棟・外来に勤務する看護師及び准看護師のうち、診療時間外の交代制及び宿日直体制における看護師及び准看護師数を記入すること。
- (6)「指導を行う者の氏名等」欄については、救急医療の指導を行う者について別紙4に記入すること。
- (7)「救急医療を提供している診療科」欄は、内科系、外科系又は小児科に係る救急医療の提供の有無について、該当する番号に○をつけ、その他の診療科に係る救急医療を提供している場合には、「その他」欄に当該診療科名を記入すること。
- 16 「医療法上の許可病床数(歯科の病床数を除く。)」欄は、当該病院の病床の種別ごとの許可病床数を記入すること。
- 17 「診療科ごとの入院患者・外来患者・研修医の数」欄は、入院患者・外来患者の数においては、年次報告、研修プログラム変更・新設届出共に提出の前年度の実績を記入すること。研修医の数においては、年次報告では提出年度の前年度の実績と当該年度の想定を別葉にて記入し、研修プログラム変更・新設届出では、提出年度の次年度及び次々年度の想定を別葉にて記入すること。
- 17 「病床の種別ごとの平均在院日数」欄は、次に掲げる算出式により算出した、報告・届出年度の前年度の平均在院日数を記入すること。ただし、在院患者延日数とは、報告・届出年度の前年度の毎日0時現在の在院患者数を合計した数とすること。なお、在院患者延日数、新入院患者数及び退院患者数については、保険診療であるか否かを問わないものであること。

※ 算出式

$$\frac{\text{在院患者延日数}}{1/2(\text{新入院患者数} + \text{退院患者数})} = \text{平均在院日数 (小数第二位を四捨五入)}$$

- 18 「前年度の分娩件数」欄は、報告・届出年度の前年度の正常分娩件数及び異常分娩件数についてそれぞれ記入すること。
- 19 「臨床病理検討会（CPC）の実施状況」欄について
- （1）「開催回数」欄は、報告・届出病院の主催の下に開催したCPCの報告・届出年度の前年度の開催回数及び報告・届出年度の開催見込数を記入すること。
 - （2）「剖検数」欄は、報告・届出年度の前年度の剖検件数及び報告・届出年度の剖検見込数を記入すること。
 - （3）「剖検を行う場所」欄は、剖検を当該医療機関の剖検室で行っている場合は「1. 有」に○をつけること。また、剖検を当該医療機関の剖検室で行っていない場合には、「0. 無」に○をつけるとともに、剖検を大学の剖検室において行っているときは「（ ）大学」に当該大学名を記入し、剖検を他病院の剖検室で行っているときは「（ ）病院」に当該病院名を記入すること。
- 20 「研修医のための宿舎及び研修医室の有無」欄について
- （1）「研修医の宿舎」欄は、研修医の利用に供する宿舎（当該病院の敷地の内外を問わない。）を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、「単身用」・「世帯用」のそれぞれの戸数を記入すること。また、研修医のための宿舎を有さない場合は「0. 無」に○をつけるとともに、住宅手当の支給内容（全額支給、一律〇〇円、最低〇〇円から最高〇〇円の範囲内で負担額に応じて支給等）を記入すること（住宅手当を支給していない場合には「0円」と記入すること。）。
 - （2）「研修医室」欄は、研修医室を有する場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その室数を記入すること。また、研修医室を有さない場合は「0. 無」に○をつけること。
- 21 「図書、雑誌、インターネット等が利用できる環境及び医学教育用機材の整備状況」欄について
- （1）「文献データベース等の利用環境」欄は、Medline等の文献データベース及び教育用コンテンツのそれぞれについて、利用できる場合は「1. 有」に○をつけ、利用できない場合には「0. 無」に○をつけること。また、文献データベース及び教育用コンテンツ以外に、これに類するもので利用できるものがある場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
 - （2）「医学教育用機材の整備状況」欄は、医学教育用シミュレーターの整備の有無について該当する番号に○をつけること。また、臨床研修に必要なその他の医学教育用機材を整備している場合は「その他（ ）」にその内容を記入すること。
- 22 「病歴管理体制」欄について
- （1）「診療に関する諸記録の管理方法」欄は、診療に関する諸記録（診療録、病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約等）に関する管理方法について、主に中央管理を行っている場合には「1. 中央管理」、主に各科管理を行っている場合には「2. 各科管理」に○をつけること。また、いずれにも該当しない場合は「その他」欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （2）「診療録の保存方法」欄は、診療録を文書により保存している場合には「1. 文書」、電子媒体により保存している場合には「2. 電子媒体」に○をつけること。また、双方併用で保存している場合等は「その他」欄に具体的に記入すること。
- 23 「医療安全管理体制」欄について
- （1）「安全管理者の配置状況」欄は、安全管理者を配置している場合は「1. 有」に○をつけるとともに、その人数を記入すること。また、安全管理者を配置していない場合には「0. 無」に○をつけること。
 - （2）「安全管理部門の設置状況」欄は、安全管理部門の専任職員及び兼任職員の数をそれぞれ記入するとともに、安全管理部門の主な活動内容を記入すること。
 - （3）「患者からの相談に適切に応じる体制の確保状況」欄は、患者相談窓口の責任者の氏名及び役職並びに患者相談への対応時間を記入するとともに、患者相談窓口に係る規約を有する場合は「1. 有」に○をつけ、有さない場合には「0. 無」に○をつけること。
- 24 「現に受け入れている研修医数」欄は、当該病院で実際に研修した全ての研修医数を記入すること。基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院である場合は、協力型として受け入れた研修医も合計すること。基幹型臨床研修病院として管理している研修医が、協力型臨床研修病院で1年間研修を行い、基幹型臨床研修病院である当該病院で研修を行わない場合は、数に含まないこと。
- 25 「受入可能定員」欄は、医療法上の許可病床数（歯科の病床数を除く。）からの算出（÷10）及び年間入院患者数（報告・届出年度の前々年度からの繰越患者数＋報告・届出年度の前年度の新規入院実患者数）からの算出（÷100）の双方とも記入すること。
- 26 「精神保健福祉士、作業療法士その他診療要員の配置状況」欄は、当該病院が精神科の研修を行う場合に記入するものであり、精神保健福祉士、作業療法士、臨床心理技術者のそれぞれの職種について、職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。また、これらの職種以外にも精神科に係る技術職員がいる場合は、その職員数及び常勤・非常勤別の内訳数を記入すること。
- 27 「前年度に育児休業を取得した研修医の数」は、当該年度に育児休業を取得した研修医がいる場合は、男女、年次別にその人数を記入すること。
- 28 「研修医の妊娠・出産・育児に関する施設及び取組に関する事項」欄については、
- （1）「院内保育所」欄は、病院内に保育所等の保育施設を有している場合は「1. 有」に○をし、保育所の基本的な開所時間を記入すること。ない場合には「0. 無」に○をすること。「病児保育」・「夜間保育」欄は、院内保育所で病児保育・夜間保育を行っている場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。「上記保育所は研修医の子どもにも使用可能か」欄は、上記で回答した保育所に研修医が子どもを預けることが可能な場合は「1. 可」に○をし、預けることができない場合は「0. 不可」に○をすること。
 - （2）「保育補助」欄は、ベビーシッター・一時保育等利用時の補助を病院が行っている場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。その他に何らかの保育補助を行っている場合は、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
 - （3）「体調不良時に休憩・授乳等に使用できる場所」欄は、病院内に研修医が使用できる休憩場所や授乳スペースを有している場合は、それぞれにつき「1. 有」に○をし、ない場合はそれぞれにつき「0. 無」に○をすること。
 - （4）「その他育児関連施設・取組」欄は、上記（1）～（3）に該当しない、育児関連施設を有している場合や育児関連の取組を行っている場合（院外施設・制度との連携した取組も含む）は、回答欄内にその内容を具体的に記入すること。
 - （5）「研修医のライフイベント相談窓口」欄は、病院内に研修医がライフイベントについて相談できる窓口を設置している場合は「1. 有」に○をし、ない場合は「0. 無」に○をすること。「1. 有」を選択した病院は、その窓口の名称がある場合は記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
 - （6）「各種ハラスメント相談窓口」欄は、病院内に研修医が各種ハラスメントについて相談できる窓口の名称について記載し、窓口の専任担当がいる場合は「1. 有」に○をして、その人数を記載すること、専任担当がいない場合は「0. 無」に○をすること。
- 29 「研修プログラムの名称」以降の欄については、研修プログラムごとに別葉に記入すること。
- 30 「インターネットを用いた評価システム」欄は、該当するものに○をつけ、「1. 有」を選択した場合は、EPOCかその他を選択すること。

31 「研修医の募集定員」については、当該病院で臨床研修を行っている1年次及び2年次の合計が受入可能定員を超えないこと。

32 「研修医の募集及び採用の方法」欄について

- (1) 「募集方法」欄は、研修医を公募により募集する場合には「1. 公募」に○をつけ、その他の方法とする場合にはその他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (2) 「応募必要書類」欄は、研修医が選考に応募する際に必要な書類全てに○をつけ、その他に必要な書類がある場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (3) 「選考方法」欄は、研修医の選考方法について該当するもの全てに○をつけ、その他に選考方法を設ける場合には、その他欄にその内容を具体的に記入すること。
- (4) 「募集及び選考の時期」欄は、募集及び選考の時期について、具体的に記入すること。
- (5) 「マッチング利用の有無」欄は、マッチングを利用する場合には「1. 有」に○をし、マッチングを利用しない場合には「0. 無」に○をすること。

33 「研修医の処遇」欄について

- (1) 「処遇の適用」欄については、基幹型臨床研修病院は、2に○をつけ、以降の研修医の処遇の各項目について記入すること。また、協力型臨床研修病院は、基幹型臨床研修病院と同一の処遇とする場合には、1に○をつけ（この場合、以降の研修医の処遇の項目については記入しなくとも差し支えないこと。）、また、病院独自の処遇とする場合には、2に○をつけること。
- (2) 「研修手当」欄は、研修医の基本的な研修手当について、1年次及び2年次の基本手当の額（税込み）、賞与の支給額を記入すること。基本手当が月給ではない場合にあっては、およその月額を記入すること。時間外手当及び休日手当を支給する場合は、それぞれ「1. 有」に、支給しない場合には「0. 無」に○をつけること。なお、時間外勤務及び休日勤務がある場合においては、時間外手当及び休日手当が支給されるものと考えられること。
- (3) 「勤務時間」欄は、研修医の基本的な勤務時間及び勤務時間中の休憩時間について記入すること。また、「時間外勤務の有無」欄は、時間外勤務がある場合には「1. 有」に、ない場合には「0. 無」に○をつけること。
- (4) 「休暇」欄は、研修医の基本的な休暇の内容について、1年次及び2年次の有給休暇付与日数を記入すること。また、夏季休暇、年末年始休暇の有無について該当するものに○をつけること。また、これら以外に休暇を付与する場合は、その具体的休暇名を記入すること。
- (5) 「当直」欄は、研修医の一月あたりのおよその当直回数について記入すること。
- (6) 「社会保険・労働保険」欄は、研修医に適用される社会保険・労働保険について、「公的医療保険（ ）」欄に「組合健康保険」等と、「公的年金保険（ ）」欄に「厚生年金保険」等と記入し、「労働者災害補償保険法の適用」欄、「国家・地方公務員災害補償法の適用」欄、「雇用保険」欄のそれぞれ該当するものに○をつけること。
- (7) 「健康管理」欄は、研修医の基本的な健康管理について、健康診断の回数を記入すること。また、健康診断以外で健康管理を実施している場合は、「その他」欄に具体的に記入すること。
- (8) 「医師賠償責任保険の扱い」欄は、研修医の医師賠償責任保険の基本的な扱いについて該当するものに○をつけること。
- (9) 「外部の研修活動」欄は、学会、研究会等への参加を認めるか否かについて該当するものに○をつけ、認める場合における参加費用の支給の有無についても、該当するものに○をつけること。

7. 病院群の構成等

別表

基幹型又は地域密着型病院の名称（所在都道府県）：済生会今治病院（愛媛県）

基幹型又は地域密着型臨床研修病院				協力型臨床研修病院				臨床研修協力施設				研修プログラム			
所在都道府県	二次医療圏	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	所在都道府県	二次医療圏	追加・削除	名称	新規	名称	定員
愛媛県	今治	済生会今治病院 (病院施設番号:030976)		愛媛県	今治		済生会今治第二病院 (病院施設番号:034265)		愛媛県	今治		井門クリニック (病院施設番号:096325)		しまなみプログラム2021	6
				愛媛県	今治		きら病院 (病院施設番号:076219)		愛媛県	今治		愛媛県今治保健所 (病院施設番号:034264)			
				愛媛県	今治		正光会今治病院 (病院施設番号:032263)		愛媛県	今治		済生会今治老人保健施設 希望の園 (病院施設番号:034266)			
				愛媛県	今治		放射線第一病院 (病院施設番号:040031)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	今治		愛媛県立今治病院 (病院施設番号:032000)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	今治		瀬戸内海病院 (病院施設番号:070006)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	西条 新居浜		済生会西条病院 (病院施設番号:031996)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	松山		済生会松山病院 (病院施設番号:032269)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	松山		愛媛大学医学部附属病院 (病院施設番号:030676)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	松山		四国がんセンター (病院施設番号:060039)					(病院施設番号:)			
				愛媛県	八幡浜・大洲		西予市立野村病院 (病院施設番号:034290)					(病院施設番号:)			
				岡山県	岡山県 南東部		岡山県済生会総合病院 (病院施設番号:030613)					(病院施設番号:)			
				大分県	別枠速見		野口病院 (病院施設番号:032164)					(病院施設番号:)			
				神奈川県	横浜		済生会横浜市東部病院 (病院施設番号:060004)					(病院施設番号:)			

病院群を構成する臨床研修病院及び研修協力施設（病院又は診療所に限る）が同一の二次医療圏又は同一の都道府県を越えている場合は、その理由を以下に記載。

当院は岡山大学関連の研修医を受け入れる機会が多いため、岡山大学関連の中で救急医療に熱心な岡山県済生会総合病院と連携を深めていきたいと考えている。野口病院は全国から患者が集まる手術経験も豊富な甲状腺疾患に特化した病院で、愛媛大学研修関連病院に指定されており、当院には既に研修経験者もいる。両病院とも当院の臨床研修目標であるプライマリ・ケア、救急処置のできる総合診療医を育成していく過程で、ぜひとも経験してほしい疾患及び診療を行っている病院であるため、二次医療圏を越えて協力型病院として参加していただく方針となった。また、平成29年度より総合診療研修の充実を目的に、愛媛大学大学院地域医療学西予地域サテライトセンターが設置されている西予市立野村病院を追加した。令和3年度しまなみプログラム2021より、済生会横浜市東部病院を協力型病院として追加した。理由として当院はまだ救急科の整備は十分ではなく今後愛媛県域で救急専門医を育成する観点から、救急専門医が複数名おりまた重症外傷センターを持つ東部病院にて救急分野の研修を選択できるようにしたいと考えている。

- ※ 該当する項目について、上から病院施設番号順に詰めて記入すること。
- ※ 病院群を構成する全ての基幹型病院、地域密着型病院、協力型病院及び臨床研修協力施設（今回の届出により削除しようとするものを含む。）の所在都道府県、二次医療圏、名称をそれぞれの「所在都道府県」、「二次医療圏」、「名称」欄に記入（既に病院施設番号を取得している研修病院等は番号を「名称」欄に記入）した上で、それぞれの施設が新たに臨床研修協力病院（協力施設）となる場合は「新規」欄に「○」を記入し、また、臨床研修病院（協力施設）を追加又は削除する場合にはそれぞれの施設が以前の病院群に追加されるか以前の病院群から削除されるかにより「追加・削除」欄に「追加」又は「削除」を記入すること。
- ※ 当該病院群に係る全ての研修プログラムの名称及び募集定員（自治医科大学卒業生等マッチングによらないものを含む）を「研修プログラム」欄に記入すること。

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数

(2022年度開催回数3回)

病院施設番号: 030976

臨床研修病院の名称:

済生会今治病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ マツノ ツヨシ 姓 松野 名 剛	済生会今治病院	院長	指導医
フリガナ ニシザキ オサム 姓 西崎 名 統	済生会今治病院	副院長兼臨床研修センター長 兼救急部長	プログラム責任者 研修実施責任者 指導医
フリガナ イノグチ カズヒト 姓 井口 名 利仁	済生会今治病院	副院長(外科)兼麻酔科部長 兼感染対策管理室長	副プログラム責任者 研修実施責任者 指導医
フリガナ ミヤイケ ジロウ 姓 宮池 名 次郎	済生会今治病院	副院長兼医療安全管理室長 兼危機管理室長兼システム管理部 長	指導医
フリガナ カワサキ ケイタロウ 姓 川崎 名 敬太郎	済生会今治病院	内視鏡センター長兼部長(内科) 兼検査部長	副プログラム責任者 指導医
フリガナ マキ ユウスケ 姓 眞木 名 佑輔	済生会今治病院	循環器内科医員	
フリガナ ミヤジマ ユリ 姓 宮嶋 名 優里	済生会今治病院	看護部長	
フリガナ ヤノ ナオミ 姓 矢野 名 直美	済生会今治病院	薬剤部科長	
フリガナ アカオ トモヒロ 姓 赤尾 名 智広	済生会今治病院	検査部技師長	
フリガナ コンドウ マコト 姓 近藤 名 誠	済生会今治病院	放射線部技師長	
フリガナ ムラカミ ユウジ 姓 村上 名 祐司	済生会今治病院	リハビリテーション部科長	
フリガナ ニノミヤ トシオ 姓 二宮 名 俊男	済生会今治病院	事務部長	
フリガナ マツイ タケシ 姓 松井 名 武志	希望の園	園長	研修実施責任者 指導医

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数

(2022年度開催回数3回)

病院施設番号: 030976

臨床研修病院の名称:

済生会今治病院

氏名	所属	役職	備考
フリガナ ホリイケ ノリオ 姓 堀池 名 典生	済生会今治第二病院	院長	研修実施責任者 指導医
フリガナ オカダ シンイチ 姓 岡田 名 眞一	済生会西条病院	院長	研修実施責任者 指導医
フリガナ コハシ ケンタ 姓 小橋 名 研太	済生会西条病院	外科部長	指導医
フリガナ ミヤオカ ヒロアキ 姓 宮岡 名 弘明	済生会松山病院	院長	指導医
フリガナ ムラカミ ヒデヒロ 姓 村上 名 英広	済生会松山病院	副院長	研修実施責任者 指導医
フリガナ カタオカ マサフミ 姓 片岡 名 正文	岡山済生会総合病院	副院長	指導医
フリガナ シミズ マサユキ 姓 清水 名 正幸	済生会横浜市東部病院	救命救急センター長	指導医
フリガナ クマギ テル 姓 熊木 名 天児	愛媛大学医学部附属病院	総合臨床研修センター長	研修実施責任者 指導医
フリガナ ミゾブチ ムツヒコ 姓 溝渕 名 睦彦	正光会今治病院	医局員	研修実施責任者 指導医
フリガナ キラ トシヒコ 姓 吉良 名 敏彦	きら病院	理事長	研修実施責任者 指導医
フリガナ ワタナベ セイイチロウ 姓 渡部 名 誠一郎	放射線第一病院	副院長	研修実施責任者
フリガナ コボリ ヨウイチロウ 姓 小堀 名 陽一郎	瀬戸内海病院	院長	研修実施責任者 指導医
フリガナ マツダ オサム 姓 松田 名 修	愛媛県立今治病院	副院長	研修実施責任者 指導医

6. 研修管理委員会の構成員の氏名及び開催回数

(2022年度開催回数3回)

病院施設番号: 030976

臨床研修病院の名称:

済生会今治病院

氏名		所属	役職	備考
フリガナ コウヅキ トシユキ 姓 上月 名 稔幸	四国がんセンター	臨床研究センター長	指導医	
フリガナ ムラカミ ツカサ 姓 村上 名 司	野口病院	理事・院長	研修実施責任者 指導医	
フリガナ カワモト リュウイチ 姓 川本 名 龍一	西予市立野村病院	愛媛大学大学院医学系研究科地域 医療学講座教授	研修実施責任者 指導医	
フリガナ イモン ヒトシ 姓 井門 名 等	井門クリニック	院長	研修実施責任者 指導医	
フリガナ オカダ カツシ 姓 岡田 名 克俊	愛媛県今治保健所	所長	研修実施責任者 指導医	
フリガナ キモト シン 姓 木本 名 眞	今治市医師会	会長	外部委員	
フリガナ クボ サチ 姓 久保 名 幸	愛媛県看護協会	専務理事	外部委員	
フリガナ ニシハラ コウタロウ 姓 西原 名 孝太郎	第一印刷株式会社	代表取締役社長	外部委員	
フリガナ 姓 名	済生会今治病院	研修医代表者		

※ 1 ページ目の最上欄には、研修管理委員長の氏名等を記入すること。「所属」欄には、当該構成員が所属する病院又は施設の名称を記入すること。研修管理委員長、プログラム責任者、研修実施責任者及び臨床研修指導医（指導医）については、「備考」欄にその旨を記入すること。欄が足りない場合には、コピーにより対応し、「(No.)」欄にページ数を記入すること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：社会福祉法人^{恩賜財団}済生会今治病院
 病院施設番号：030976

区 分	内 科	救急部門	外 科	麻酔科 (部門)	小 児 科	産婦人科	又は		精 神 科	病院で定めた必修 科目の診療科			その他の研修を行う診療 科				
							産 科	婦 人 科					外 科	心臓血管	整形外科	泌尿器科	科 脳神経外
年間入院患者実数 () 内は救急件数又は分娩件数	1,960	()	711		19	()	()						114	324	211	380	
年間新外来患者数	4,484		895		1058								107	375	335	492	
1日平均外来患者数 () 内は年間外来診療日数	364.7 (268)	()	62.0 (268)	()	24.4 (268)	()	()	()	()	()	()	()	5.1 (268)	41.6 (268)	28.4 (268)	32.6 (268)	
平均在院日数	13.9		17.3		6.5								13.6	32.6	4.3	16.5	
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医) 数)	16 (9)	()	9 (6)	1 (1)	3 (2)	()	()	()	()	()	()	()	2 (0)	3 (2)	1 (1)	3 (2)	

※ 「年間入院患者実数」とは、提出年度の前々年度の繰越患者数に提出年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、提出年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数(小数第二位を四捨五入)とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄等が足りない場合には、続紙(様式自由)に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10. の救急医療の実績の前年度の件数及び 14. の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

12. 診療科ごとの入院患者・外来患者の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

臨床研修病院の名称：社会福祉法人^{恩賜財団}済生会今治病院

病院施設番号：030976

区 分	その他の研修を行う診療科											合 計
	形成外科	皮膚科	科 リウマチ内	神経内科	放射線科	病理診断科	緩和ケア					
年間入院患者実数 ()内は救急件数又は分娩件数	0	16	53	7	0							3,795
年間新外来患者数	532	676	146	137	507							9,744
1日平均外来患者数 ()内は年間外来診療日数	12.7 (268)	34.3 (268)	15.6 (268)	13.1 (268)	12.5 (268)	()	()	()	()	()	()	
平均在院日数	0	42.9	26.8	8.1								
常勤医師数 (うち臨床研修指導医(指導医)数)	0 (0)	1 (1)	1 (1)	1 (1)	5 (2)	1 (0)	1 (1)	()	()	()	()	48 (29)

※ 「年間入院患者実数」とは、当該年度の前々年度の繰越患者数に当該年度の前年度中における新入院患者数を加えた数とすること。「年間新外来患者数」とは、当該年度の前年度中に来院した外来患者のうち、初診料を算定した患者数とすること。「1日平均外来患者数」とは、年間外来患者延数÷年間外来診療日数による数（小数第二位を四捨五入）とすること。「病院で定めた必修科目の診療科」欄が足りない場合には、続紙（様式自由）に記載し添付すること。「救急件数」及び「分娩件数」とは、10.の救急医療の実績の前年度の件数及び14.の正常分娩件数と異常分娩件数の合計とすること。

※ 「内科」とは、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、神経内科等を含めた広義の内科のうち基本研修科目の内科分野の研修を行う診療科であり、「外科」とは、心臓血管外科、呼吸器外科、脳外科等を含めた広義の外科のうち基本研修科目の外科分野の研修を行う診療科であること。

※ 基幹型臨床研修病院においては、内科及び救急部門に係る患者の症例リストを添付すること。（様式任意）

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和4年度分)		臨床研修病院の名称：社会福祉法人 ^{恩賜} 済生会今治病院 _{財団}												
		病院施設番号：030976												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
済生会今治病院	内科	6	4	3	4	3	3		3	1	1	1	2	4
	内科合計	6	4	3	4	3	3	0	3	1	1	1	2	4
済生会今治病院	救急部門		2	3	1		1	2	1	1	2	1		1
済生会横浜市東部病院	救急部門						1							
	救急部門合計	0	2	3	1	0	2	2	1	1	2	1	0	1
済生会加須病院	地域医療				1	1		1						
	地域医療合計	0	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0
済生会今治病院	外科	1		1		1		1						1
	外科合計	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0
済生会今治病院	小児科							1	1	1	1	1		1
愛媛大学医学部附属病院	小児科				1									
	小児科合計	0	0	0	1	0	0	1	1	1	1	1	0	1
愛媛大学医学部附属病院	精神科		1											
	精神科合計	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会今治病院		1	1	1	1	1						1	1	
放射線第一病院					1									
済生会松山病院							1	1						
	選択科目合計	1	1	1	2	1	1	1	0	0	0	1	1	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績分及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成すること。

※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。

- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とする）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

12. 診療科ごとの研修医の数

既に番号を取得している臨床研修病院については病院施設番号を記入してください。

(令和5年度分)		臨床研修病院の名称：社会福祉法人 ^{恩賜財団} 済生会今治病院												
		病院施設番号：030976												
基幹型病院名	担当分野	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
済生会今治病院	内科	9	5	2	2	3	2	4	3	3	3	1	2	5
愛媛大学医学部附属病院	内科			1	2	2	1		1					
	内科合計	9	5	3	4	5	3	4	4	3	3	1	2	5
済生会今治病院	救急部門		2	3	2	2	2	1				1	1	2
	救急部門合計	0	2	3	2	2	2	1	0	0	0	1	1	2
済生会加須病院	地域医療				1	1	1							
	地域医療合計	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0
済生会今治病院	外科		1	1	1		1		1			1		
	外科合計	0	1	1	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0
済生会今治病院	小児科								1		1	1	1	1
済生会松山病院	小児科									1				
	小児科合計	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1
愛媛県立今治病院	産婦人科												1	1
	産婦人科合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
愛媛大学医学部附属病院	精神科			1		1								
	精神科合計	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
済生会今治病院			1		1	1	1			1		1	2	
愛媛大学医学部附属病院								1						
済生会西条病院									1	1	2	2		
	選択科目合計	0	1	0	1	1	1	1	1	2	2	3	2	0

※ 年次報告の場合は提出年度の前年度の実績及び提出年度分の想定を別葉で作成し、研修プログラム変更・新設届出の場合は、届出年度の次年度分、次々年度分の想定を別葉で作成す

ること。

- ※ 当該病院が上記の年度に受け入れた、又は受け入れる予定の研修医の数を、基幹型臨床研修病院別及び担当分野別に記入すること。当該病院が基幹型臨床研修病院であり、かつ協力型臨床研修病院として研修医を受け入れている場合は、協力型臨床研修病院として受け入れている人数も含めて、全ての人数を記入すること。
- ※ 「基幹型臨床研修病院名」欄は、当該病院が基幹型臨床研修病院の場合は、当該病院を一番上に記入することとし、次に協力型臨床研修病院として受け入れている基幹型臨床研修病院名を記入すること。
- ※ 基幹型臨床研修病院及び担当分野ごとに各4週ごとに受け入れる研修医の延人数（研修期間4週について1人とすること）を記入すること。
- ※ 「担当分野」欄には、内科、救急部門、地域医療、外科、麻酔科、小児科、産婦人科及び精神科のみを記入し、選択科については記入しないこと。ただし、一般外来については、他科との並行研修ではなく、単独で実施する場合に限り記入すること。また、当該病院が基幹型臨床研修病院であるとき、病院が定めた必修科目が上記以外にある場合には、その科目も含めて記入すること。

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030976702

病院施設番号： 030976 臨床研修病院の名称：社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院

臨床研修病院群番号： 臨床研修病院群名：済生会今治病院

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	しまなみプログラム 2021				
2. 研修プログラムの特色	<p>地域に密着した中規模病院の特殊性を生かし、患者・家族とのふれあいをもとに、医療・福祉・予防医学を学習する。また、1次から2.5次救急まで地域の救急医療・急性期疾患から癌治療および終末期医療まで広い範囲の診療を経験することができる。</p> <p>当院は今治医療圏の中核病院であり、基幹型病院として専門性を発揮できる豊富な症例を持ち、専門的な医療を提供している。また、救急患者は昼夜を問わず診療しており、初期研修に必要な多くの救急疾患を経験できプライマリ・ケアの修得には最適である。中規模病院であるため個々の研修医の要望に対応でき家族的な雰囲気での研修が行える。初期研修修了後も専門医修得に必要な環境が整っており専攻医研修にも適している。上記のハード研修とともに、大学教官経験者も多くソフト研修にも応えられる。</p> <p>多くの学会への参加も奨励している。また、済生会関連では、全国済生会学会や愛媛済生会病院研修医育成セミナーへの参加を促し、研修医と指導医のレベルアップ及び交流を図っている。</p>				
3. 臨床研修の目標の概要	<p>医師としての基本的態度を身につけ、さまざまな人格を持つ患者さまと接し、対応できるように人格形成に努める。実際には医療面接・患者診察・検査や処置の基本を中心に基礎的診療能力を修得し、将来専門性を獲得しても医師として必要なプライマリ・ケア、救急処置などが実践できる総合診療医を第一の目標とし、次いで専門医取得の準備への基礎能力を培うこととする。</p>				
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)				
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。				
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>				
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来	
(記入例) x x 科	1234567	〇〇 病院	〇週	〇週	
必修科目・分野	内科	030976	済生会今治病院	24週	4週
	救急部門	030976	済生会今治病院	12週	
	地域医療	096325	井門クリニック	4週	一般外来 4週 在宅診療 1週
		034265	済生会今治第二病院		一般外来 2週 在宅診療 0週
	034290	西予市立野村病院		一般外来 1週 在宅診療 1週	

	外科	030976	済生会今治病院	4週	1週
	小児科	030976	済生会今治病院	4週	2週
	産婦人科	076219 032000 030676	きら病院 愛媛県立今治病院 愛媛大学医学部附属病院	4週	
	精神科	032263	正光会今治病院	4週	
病院で 定めた 必修 科目					
選択 科目	内科	030976 030676 030613 032269 070006	済生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 岡山済生会総合病院 済生会松山病院 瀬戸内海病院	48週	
	呼吸器内科	040031	放射線第一病院		
	内科（循環器内 科・病理を含む）	031996	済生会西条病院		
	内科（消化器内 科, 糖尿病・内分 泌内科, 血液内 科）	032000	愛媛県立今治病院		
	循環器内科	030976 032269 032000	済生会今治病院 済生会松山病院 愛媛県立今治病院		
	脳神経内科	032269	済生会松山病院		
	外科	030976 030676 030613 032269 032000	済生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 岡山済生会総合病院 済生会松山病院 愛媛県立今治病院		
	外科（麻酔科を 含む）	031996	済生会西条病院		
	小児科	030976 030676 032000	済生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 愛媛県立今治病院		
	産婦人科	032000 030676	愛媛県立今治病院 愛媛大学医学部附属病院		
	小児科	030976 070006	済生会今治病院 瀬戸内海病院		
	麻酔科	030976 030676 032269 032000	済生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 済生会松山病院 愛媛県立今治病院		
	脳神経外科	030976 030676 032269 031996 032000	済生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 済生会松山病院 済生会西条病院 愛媛県立今治病院		

		整形外科	030976 030676 030613 032269 031996 032000	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 岡山济生会総合病院 济生会松山病院 济生会西条病院 愛媛県立今治病院	
		心臓血管外科	030976	济生会今治病院	
		泌尿器科	030976 030676 032269 031996 032000	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 济生会松山病院 济生会西条病院 愛媛県立今治病院	
		皮膚科	030976 030676 032000	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 愛媛県立今治病院	
		形成外科	030976 030676	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院	
		放射線科	030976 030676 032269 032000	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院 济生会松山病院 愛媛県立今治病院	
		病理診断科	030976 030676	济生会今治病院 愛媛大学医学部附属病院	
		眼科	030676 032269 031996	愛媛大学医学部附属病院 济生会松山病院 济生会西条病院	
		耳鼻咽喉科	030676 032000	愛媛大学医学部附属病院 愛媛県立今治病院	
		救急科	030676 030613 060004	愛媛大学医学部附属病院 岡山济生会総合病院 济生会横浜市東部病院	
		リハビリテー ション科	030676	愛媛大学医学部附属病院	
		総合診療科	030676	愛媛大学医学部附属病院	
		臨床検査	030676	愛媛大学医学部附属病院	
		甲状腺疾患	032164	野口病院	
		がん診療	060039	四国がんセンター	
		精神科	032263 030676	正光会今治病院 愛媛大学医学部附属病院	
		地域医療 (在宅医療)	096325 034290	井門クリニック 西予市立野村病院	
		地域保健	034264 034266	愛媛県今治保健所 希望の園	

備考：基幹型臨床研修病院での研修期間・・・最低 52 週 ※原則として、52 週以上行うことが望ましい。
臨床研修協力施設での研修期間・・・最大 12 週 ※原則として、12 週以内であること。ただしへき地・離島診療所等の研修期間が含まれる場合はこの限りでは無い。
研修プログラムに規定された 4 週以上のまとまった救急部門の研修を行った後に救急部門
の研修としてみなす休日・夜間の当直回数・・・約 45 回
救急部門（必修）における麻酔科の研修期間・・・0 週※但し、4 週を上限とする
一般外来の研修を行う診療科・・・内科、外科、小児科、地域医療
※地域医療の中での在宅診療を一般外来の欄に記載すること
地域医療研修の研修先を済生会今治第二病院とした場合は、選択科目で西予市立野村病院・
井門クリニックを選択し在宅医療研修を行う。

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号
は、既取得されている場合に記入してください。

病院施設番号： 030976

臨床研修病院の名称： 社会福祉法人恩賜財団済生会今治病院

臨床研修病院群番号： 0309767

臨床研修病院群名： 済生会今治病院

6. 研修スケジュール (一年次・二年次：いずれかに○)

プログラム番号 030976702

臨床研修開始週を基準に各週の研修人数を記入してください。*1

(No. 1)

病院又は施設の名称 (病院施設番号)	研修分野*2	1~ 4週	5~ 8週	9~ 12週	11~ 16週	17~ 20週	21~ 24週	25~ 28週	29~ 32週	33~ 36週	37~ 40週	41~ 44週	45~ 48週	49~ 52週
凡例 ○×病院 (○×○×○×)	内科	5												
凡例 ▲■病院 (▲■▲■▲■)	外科	3												
凡例 △□病院 (△□△□△□)	外科			3										
済生会今治病院 (030976)	内科				7	7	7	7	7	7	7	7		
済生会今治病院 (030976)	救急	7	7	7	7	7	7	7	7					
済生会今治病院 (030976)	外科								7	7	7	7		
済生会今治病院 (030976)	小児科									7	7	7	7	
きら病院 (076219) 愛媛県立今治病院 (032000) 愛媛大学医学部附属病院 (030676)	産婦人科										7	7	7	7
済生会今治病院 (030976)	内科 (選択)										3	3	3	3
済生会今治病院 (030976)	外科 (選択)										2	2	2	2
2 済生会今治病院 (030976)	循環器内 科(選択)										1	1	1	1

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030976

臨床研修病院の名称:済生会今治病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科 脳神経内科	野元 正弘	済生会今治病院	臨床研究センター長	46	○	日本内科学会認定医 日本神経内科学会指導医・専門医・認定医 日本臨床薬理学会指導医・専門医・認定医 日本薬剤疫学会専門医 産業医 第43回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ	030976701 030976702	4
外科	松野 剛	済生会今治病院	院長	42	○	医学博士 岡山大学医学部医学教育ワークショップ修了 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本がん治療認定医機構暫定教育医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本緩和医療学会暫定指導医 産業医 平成16年岡山大学病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講 PMET平成17年度プログラム責任者養成講習会受講 平成18年度特定研修第2回医師臨床研修制度・研修管理委員長研修受講	030976701 030976702	4
小児科 救急	高橋 龍太郎	済生会今治病院	健診センター長	44	○	医学博士 日本小児科学会専門医・認定医 地域総合小児医療認定医、ICD認定医 岡山大学医学部医学教育ワークショップ修了 第15回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
放射線科 救急	真鍋 俊治	済生会今治病院	PET-CTセンター長	42	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 日本核医学会PET核医学認定医 検診マングラフィ読影認定医 平成19年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講	030976701 030976702	4
内科 循環器内科 救急	美馬 敦	済生会今治病院	総合医療支援室長 兼透析センター長 兼救急部副部長	41	○	医学博士 日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本高血圧学会指導医・専門医 日本循環器学会地方会中四国評議員 平成17年度岡山大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講 平成23年度プログラム責任者養成講習会受講	030976701 030976702	4
脳神経外科 救急	西崎 統	済生会今治病院	副院長 兼臨床研修センター長 兼救急部長	33	○	日本脳神経外科学会指導医・専門医 日本脳卒中学会専門医 日本脳神経血管内治療学会専門医 第25回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講 平成28年度プログラム責任者養成講習会受講	030976701 030976702	1,3,4
内科	寺尾 孝志	済生会今治病院	部長	31	○	日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 日本内科学会認定医 第5回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
内科 救急	宮池 次郎	済生会今治病院	副院長 兼医療安全管理室長 兼危機管理室長 兼システム管理部長	34	○	医学博士 日本内科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器内視鏡学会指導医・専門医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本ヘリコバクター学会認定医 平成16年度岡山大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講 PMET平成24年度プログラム責任者養成講習会受講	030976701 030976702	4

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030976

臨床研修病院の名称:済生会今治病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
内科救急	川崎 敬太郎	済生会今治病院	内視鏡センター長 兼部長 兼検査部長	19	○	日本内科学会認定医 日本糖尿病学会専門医・糖尿病協会療養指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本消化器病学会専門医 H25年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会受講	030976701 030976702	2,4
内科救急	村上 貴俊	済生会今治病院	部長	21	○	第15回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
内科救急	八木 専	済生会今治病院	医長	14	○	日本内科学会指導医 日本消化器病学会指導医 日本消化器内視鏡学会専門医 日本肝臓病学会専門医 日本消化管学会認定 日本糖尿病学会 日本門脈圧亢進症学会 日本炎症性腸疾患学会 日本緩和ケア学会	030976701 030976702	4
内科リウマチ内科救急	山崎 仁志	済生会今治病院	医長	12	○	日本内科学会認定医 日本リウマチ学会専門医 H30年度愛媛大学医学部附属病院卒後臨床研修指導医講習会受講	030976701 030976702	4
内科循環器内科救急	佐藤 慎二	済生会今治病院	部長	24	○	臨床研修指導医講習会受講 日本内科学会認定医・専門医・指導医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医・専門医 心臓リハビリテーション指導士 厚生労働省災害派遣医療チーム(DMAT)登録者 日本救急医学会ICLSインストラクター AHA BLS・ACLSインストラクター 日本外傷学会JATECインストラクター 日本循環器学会地方会中四国評議員	030976701 030976702	4
内科循環器内科救急	吉本 光広	済生会今治病院	医長	13	○	日本内科学会認定医 日本循環器学会専門医 日本心血管インターベンション治療学会認定医 日本心臓リハビリテーション学会	030976701 030976702	4
内科循環器内科救急	眞木 佑輔	済生会今治病院	医員	9	○	第46回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ	030976701 030976702	4
外科救急	藤澤 憲司	済生会今治病院	主任部長	33	○	医学博士、日本外科学会専門医、第13回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
外科救急	井口 利仁	済生会今治病院	副院長 兼感染対策管理室長 兼麻酔科部長	32	○	医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器内視鏡学会専門医・指導医 日本消化器外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器病学会指導医・専門医 日本消化管学会胃腸科専門医 日本がん治療認定医機構がん治療認定医・暫定教育医 日本臨床腫瘍学会暫定指導医 日本麻酔科学会麻酔科標榜医 日本乳癌学会乳腺認定医 日本膵臓学会認定指導医 検診マンモグラフィ読影認定 平成18年度岡山大学附属病院卒後臨床研修指導医養成講習会受講 平成28年度プログラム責任者養成講習会受講	030976701 030976702	2,3,4

31. 臨床研修指導医(指導医)等の氏名等

病院施設番号:030976

臨床研修病院の名称:済生会今治病院

担当分野	氏名	所属	役職	臨床経験年数	指導医講習会等の受講経験 有:○ 無:×	資格等	プログラム番号	備考 1 プログラム責任者 2 副プログラム責任者 3 研修実施責任者 4 臨床研修指導医(指導医)
外科救急	佐伯 隆人	済生会今治病院	部長	31	○	医学博士 日本外科学会指導医・専門医・認定医 日本消化器外科学会専門医・消化器がん外科治療認定医 日本消化器内視鏡学会専門医 検診マンモグラフィ読影認定医 第12回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
外科救急	大西 哲平	済生会今治病院	医長	20	○	医学博士 日本外科学会専門医 平成26年度岡山大学卒業臨床研修指導医養成講習会受講	030976701 030976702	4
外科救急	宮本 章仁	済生会今治病院	医員	13	○	日本外科学会専門医 平成28年度愛媛大学医学部附属病院卒業臨床研修指導医講習会(第13回)受講	030976701 030976702	4
脳神経外科救急	河合 辰典	済生会今治病院	部長	28	○	日本脳神経外科学会専門医・指導医 日本脳卒中学会専門医 第34回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
整形外科救急	高杉 茂樹	済生会今治病院	部長	40	○	医学博士 日本専門医機構整形外科専門医 日本リウマチ学会専門医 日本リハビリテーション医学会認定臨床医 日本医師会認定産業医 平成18年全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
整形外科救急	中山 和弘	済生会今治病院	部長	29	○	日本整形外科学会専門医、第26回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
泌尿器科救急	多田 靖弘	済生会今治病院	部長	29	○	日本泌尿器科指導医・専門医 日本がん治療学会がん治療認定医 緩和ケア研修会修了 第18回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
小児科救急	渡部 承平	済生会今治病院	部長	23	○	日本小児科学会専門医、平成28年度愛媛大学医学部附属病院卒業臨床研修指導医講習会(第13回)受講	030976701 030976702	4
皮膚科	鉾石 真理子	済生会今治病院	医長	28	○	日本皮膚科学会専門医 第13回全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ受講	030976701 030976702	4
放射線科	横井 敬弘	済生会今治病院	医長	11	○	日本医学放射線学会放射線診断専門医 第2回愛媛県立中央病院指導医講習会受講	030976701 030976702	4
病理診断科	坂東 健次	済生会今治病院	医長	19	×	医学博士 死体解剖資格 日本病理学会病理専門医 日本病理学会病理専門医研修指導医 日本臨床細胞学会細胞診専門医	030976701 030976702	4
緩和ケア	三好 明文	済生会今治病院	部長	33	○	平成23年度愛媛大学医学部附属病院卒業臨床研修指導医講習会(第8回)	030976701 030976702	4
麻酔科救急	真部 信毅	済生会今治病院	医員	40	○	医学博士 日本麻酔科学会指導医・専門医 第2回岡山大学病院臨床研修指導医養成講習会	030976701 030976702	4